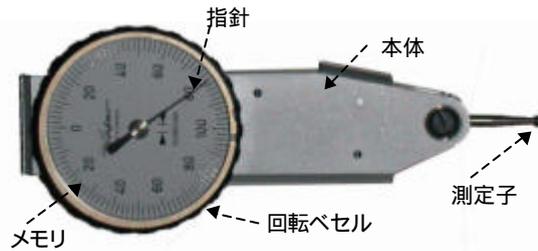


テストインジケータ

テストインジケータは対象物の平行度、および平面の良否の状態等を測定する場合に用いられます。

特に狭い箇所の測定域で、ツールポストに取付けて外側、内側、溝などを測定します。

テストインジケータは測定子の直線運動をギヤにより指針の回転運動に変え、メモリ板に測定値を拡大して表示する構造になっています。



テストインジケータはギヤにより変位を拡大しているため、ギヤの精度や摩耗、支持器の剛性、測定子の動きの方向等により誤差が生じやすいので、取扱いには注意が必要です。

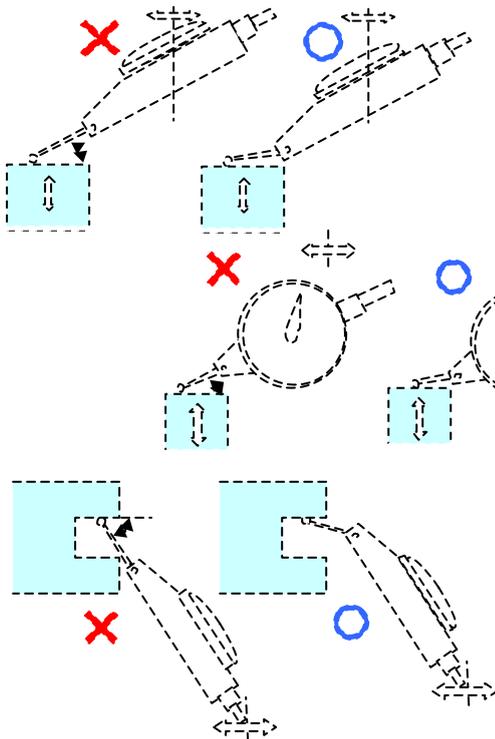
(取扱い方法)

測定する時はスタンドに取付けて行います。一般的に使用されているスタンドはマグネット式が採用されています。台座にマグネットが取付けられているため固定部分が鉄鋼製であればどのような場所にも簡単に固定することができます。

(平面の測定)

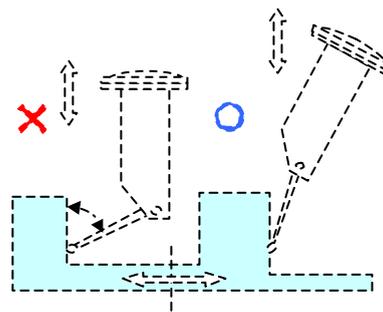
テストインジケータまたは定盤に測定部品をセットし、測定部品またはテストインジケータを静かに動かし値を読み取ることにより測定することができます。測定誤差を最小にするため測定子の当て方に注意してください。また、テストインジケータは測定部品に圧着させ、目盛板(ベゼル)を回して指針をゼロ点に合せてから測定に入ることが大切です。

テストインジケータでは、測定子を測定面に当てる角度により誤差が発生します。測定子を側面に当てる時は図の角度のをで切るだけ小さくするようにセットしてください。の値により測定値が異なります。の値による測定値の補正は表に従って行います。



(真の値 = 測定値 × 補正值)

角度	補正值
10°	0.98
20°	0.94
30°	0.87
40°	0.77
50°	0.64
60°	0.50



(保守)

使用後はほこりやゴミ等が多い所に放置しないでください。保管する時の手入れは本体表面をきれいなウェスで清掃してください。